

レジメン名 (治療名)					
CBDCA+PTX+BEV+アテゾリズマブ					
癌腫	レジメン (略語)	実施区分	抗がん剤適応区分		
非小細胞 非扁平上皮 肺癌	CBDCA+PTX+BEV +アテゾリズマブ	■入院 ■外来	■進行・再発 □術後補助化学療法 □術前補助化学療法	□大量化学療法 □局所化学療法 □その他	
投与 順	抗がん剤名 (商品名・略称)	1日投与量	投与経路	投与時間	投与日 (day1、8等)
1	アテゾリズマブ	1200mg/body	点滴静注	60分 2回目以降30分へ 短縮可能	Day1
1	ベバシズマブ【BEV】	15mg/kg	点滴静注	90分 2回目60分 3回目以降30分へ 短縮可能	Day1
2	パクリタキセル【PTX】	200mg/m ²	点滴静注	3時間	Day1
3	カルボプラチン【CBDCA】	AUC=6	点滴静注	1時間	Day1
1コースの期間 (次コースまでの標準期間)		3~4週ごと			
総コース数及び総投与量の限界		CBDCA+PTX+BEV+アテゾリズマブとして4コース行う。 その後BEV+アテゾリズマブ維持療法を3週ごとに継続する。有害事象出現またはPDまで。			
プレメディケーション ポストメディケーション		パロノセトロン、デキサメタゾン、ファモチジン クロルフェニラミン			
備考		テセントリク関連 ・副作用により中止を検討する場合、臨床試験ではBEV、CBDCA,PTXのいずれかを中止するときはアテゾリズマブ単剤の投与が行われた。 BEV関連事項 ・禁忌：2.5mL以上の鮮血喀痰既往、脳転移を有するもの ・BEV投与中の胸部放射線療法は施行しない CBDCA関連事項 ・投与量はAUC=6が400mg/m ² 以上になる場合、400mg/m ² ×体表面積で計算する。 ・内服制吐剤は症状に合わせて、アプレピタント投与可能。その際には、day2、3のデキサメタゾンの内服は省略可能。			

《投与順》

CBDCA+PTX+BEV+アテゾリズマブ 4 コース

(1)	生理食塩液	50mL	5分
(2)	生理食塩液	100mL	
	アテゾリズマブ	1200mg	60分
* 忍容性を認めた場合は2回目以降30分へ短縮可能			
(3)	生理食塩液	50mL	5分
(4)	生理食塩液	100mL	
	ベバシズマブ	15mg/kg	90分
* 忍容性を認めた場合は2回目60分、3回目以降30分へ短縮可能			
(5)	生理食塩液	100mL	
	パロノセトロン 0.75mg	1A	
	クロルフェニラミン 5mg	1A	
	ファモチジン 20mg	1A	
	デキサメタゾン 8mg	1V	15分
(6)	5%ブドウ糖液	250mL	
	パクリタキセル	200mg/m ²	3時間
(7)	5%ブドウ糖液	250mL	
	カルボプラチン	AUC=6	60分
(8)	生理食塩液	50mL	5分

維持療法

(1)	生理食塩液	50mL	5分
(2)	生理食塩液	100mL	
	アテゾリズマブ	1200mg	30分
(3)	生理食塩液	50mL	5分
(4)	生理食塩液	100mL	
	ベバシズマブ	15mg/kg	30分
(5)	生理食塩液	50mL	5分